

IP OFFICE シリーズ

取扱説明書

多機能電話機編



主装置新ソフトウェア用
追加/補足説明書

2017年03月提供版

新しく提供された主装置ソフトウェア(V5.00.00)で本システムをご利用の場合、今までの取扱説明書記載の操作が追加／変更となる説明ページを補足します。

現在の取扱説明書と併せてご利用ください。

詳しくは 販売店様にお問い合わせください。

4	1-8 その他の機能 保留音を設定する (選択できる保留音の音種に「5: システム間外線着信音」を追加)
5	3-1 電話をかけるときの便利な使いかた 内線電話を予約する (内線キャンプオンの操作方法を追加)
6	3-5 電話に応答できないときの便利な機能 不在転送先を設定する (特番からの不在転送先設定方法を追加)
10	4-1 便利な機能を使いこなす 話し中の相手の通話に割り込む (割込通話の操作方法を追加)
11	5-1 お使いになる前に (「■特徴」に内線/ドアホン通話録音について追記)
12	5-1 お使いになる前に メッセージの状態表示 (左側の説明「②着信情報」にドアホンからのメッセージ録音の説明追加)
13	5-3 基本的な使いかた (特番を利用した手順について追加)
15	5-3 基本的な使いかた (内線/ドアホン通話の録音が可能になった旨追加)
16	5-3 基本的な使いかた メールボックス用電話帳を利用する 通話録音の録音先をメールボックス用電話帳で指定する (Memoに「メールボックス用電話帳は、内線/ドアホンの通話録音では利用できません。」を追加)

17	<p>5-4 便利な使いかた</p> <p>各録音機能でメッセージ録音通知の有無と録音通知方法を選択する (表内「不在代行」の説明に「特番」を追加)</p>
18	<p>7-1 アナログ電話機の利用</p> <p>アナログ電話機の基本操作 特番ダイヤルについて (「不在転送登録」を追加)</p>
19	<p>A-2 特番一覧</p> <p>(以下の修正を実施。</p> <p>①特番No.35～37とNo.81追加(内線予約、パークシーケンス保留、パーク保留、不在転送登録)。 ②表の下に以下の注記を追加。 「・内線番号特番、内線割り込み通話特番、内線予約特番は、内線捕捉中のほか、話中音(ビジー・トーン)が聞こえているときにも使用できます。」)</p>
22	<p>A-7 オートダイヤルボタン機能一覧表</p> <p>(「No.15 内線予約」追加)</p>
27	<p>A-8 メニューショートカット一覧表</p> <p>(以下のメニュー追加。 8.音設定－7.各種音種－5. システム間外線着信音－XXX(SIP 専用線グループ番号))</p>
30	<p>コードレス電話機(WSd)(子機)</p> <p>カールコードレス電話機(CL)(子機)操作早見表 (「不在時の転送先を設定する」に特番での設定方法を追加)</p>
32	<p>デジタルコードレス電話機</p> <p>DC-8DK操作早見表 (「不在時の転送先を設定する」に特番での設定方法を追加)</p>
34	<p>デジタルコードレス電話機</p> <p>UM7700 操作早見表 (「不在時の転送先を設定する」に特番での設定方法を追加)</p>
36	<p>アナログ電話機 操作早見表</p> <p>(「不在時の転送先を設定する」に特番での設定方法を追加)</p>

● 保留音の設定

保留音をメロディや外部音源の音に変更することができます。

保留音種にメロディを選択したい場合には、はじめにメロディ設定で保留メロディ 1 ～ 2 にお気に入りのメロディを登録してから、保留音種選択の操作をします。14 曲の保留メロディと外部音源 1 ～ 3 から選択します。保留音を設定、変更できるのはシステム管理電話機のみです。

保留メロディ 1 の初期値は「愛の挨拶」、保留メロディ 2 の初期値は「さくら」です。保留メロディ 1 ～ 2 へのメロディの登録については、「保留音 / 着信音にメロディを設定する」(➡ P.52)を参照してください。

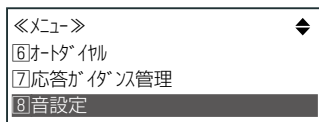
保留音を変更する

第 1 章

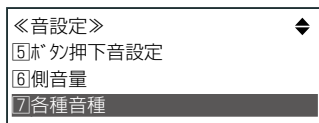
電話機の取り扱い

1 待受画面で、**(確定)**を押す
電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

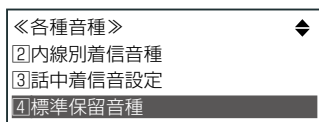
2 **(方向キー)**で [8: 音設定] を選択して、**(確定)**を押す



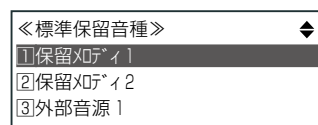
3 **(方向キー)**で [7: 各種音種] を選択して、**(確定)**を押す



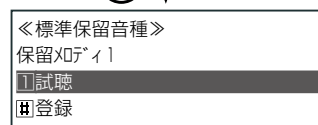
4 **(方向キー)**で [4: 標準保留音種] を選択して、**(確定)**を押す



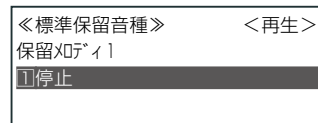
5 **(方向キー)**で [1: 保留メロディ 1] を選択して、**(確定)**を押し、**[#: 登録]**を選択して、**(確定)**を押す



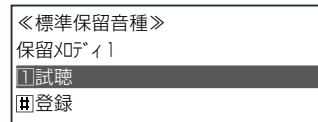
(確定)



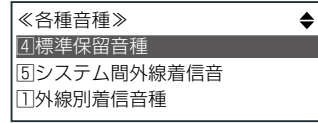
(試験) **(確定)**



(再生) **(確定)**



(登録) **(登録)**



メロディ設定で選択したメロディが保留音として設定されます。

MEMO

- すでに保留音接続中の場合は、試験することはできません。保留音を使用していないときに変更するようにしてください。
- 試験中に **(音量調整キー)**を押すと、試験する音量を調節することができます。

内線へのかけ直しを繰り返す(内線オートリピート)

内線電話した相手が話し中のときなどに、一定時間ごとに自動的にかけ直すことができます。

1 受話器を上げて、内線に電話をかける

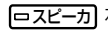
2 相手が話し中

相手が話し中のときは、受話器から話中音が聞こえます。


3 を押したあと、 を押す

オートリピートがセットされ、一定時間ごとに、手順 1 と同じ電話番号にダイヤルされます。

4 を押したあと、受話器を置いて、相手の応答を待つ

 を押す前に受話器を置くと、オートリピートがキャンセルされます。

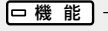
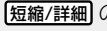
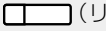
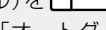
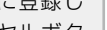

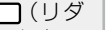
5 相手の応答する声が聞こえる

相手の声が  スピーカから聞こえます。

6 受話器を上げて、通話する

7 通話が終了したら、受話器を置く

MEMO

-  +  の代わりに、 (リダイヤル) でも同じ操作ができます。このボタンを使用する場合は、あらかじめ  (リダイヤル) を  に登録しておきます。登録方法は第 1 章の「オートダイヤルボタンに機能を登録する」(➡ P.28)を参照してください。
- 受話器を置いた状態で、 または  (リダイヤル) を再度押すとオートリピートが解除されます。

工事設定

オートリピートの回数は初期設定で 15 回です(5 秒間隔)。1 ~ 15 回の間で変更可能です。変更したい場合は、販売店にご相談ください。

内線電話を予約する(内線キャンプオン)

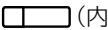
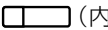
内線電話した相手が話し中のとき、相手先の内線を予約(内線キャンプオン)しておくと、相手の通話が終わったときに空いたことを知らせる着信音が鳴り、受話器を上げると相手を呼び出すことができます。

1 受話器を上げて、内線に電話をかける

2 相手が話し中

相手が話し中のときは、受話器から話中音が聞こえます。


3 (内線予約) を押す

-  (内線予約) の代わりに、内線予約特番を押すこともできます。
-  (内線予約) が赤点灯し、手順 1 でかけた内線が予約されます。

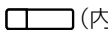
4 受話器を置いて、相手の通話が終わるのを待つ

(相手の通話が終わり受話器を置きます。)

5 呼び返しの着信音が聞こえる

 スピーカから呼び返し音(着信音)が聞こえ、着信ランプが点滅します。


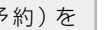
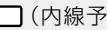
6 受話器を上げる

- 手順 1 と同じ相手に自動的に電話がかかり、受話器から相手を呼び出す音が聞こえます。
-  (内線予約) が消灯し、内線キャンプオンが解除されます。


7 相手が応答したら、通話する

8 通話が終了したら、受話器を置く

MEMO

- この操作の前に、あらかじめ  (内線予約) を  に登録しておきます。登録方法は第 1 章の「オートダイヤルボタンに機能を登録する」(➡ P.28)を参照してください。
- 特番の初期設定については、「A-2 特番一覧」(➡ P.402)を参照してください。
- 相手が話し中の間に、再度  (内線予約) または内線予約特番を押すと、内線キャンプオンが解除されます。
- 相手先内線にコールウェイティング(➡ P.180)が設定されている場合は、コールウェイティングが優先されます。

MEMO

- 転送先を外線にした場合、相手先番号入力時に、を押すと電話帳に登録されている相手先電話番号を入力することができます。
- [転送先種別]は初期設定では、[5:転送無し<切断>]が選択されていて、不在時には転送せずに切断されます。
- 不在時に留守番電話のようにボイスメールが応答（不在代行）するように設定するには、転送先種別として「ガイダンス応答録音」を選択し、着信時に流す応答ガイダンスを選択したあと、「録音あり」を選択して録音先のメールアドレスを入力します。詳細は第5章の「各種代行機能」(▶ P.243)を参照してください。

不在転送先を設定する(不在転送設定)－特番－

ここでは、特番を使って不在転送先を設定する操作について説明します。特番を使った場合は自内線の不在転送先のみ設定できます。転送先は着信回線の種別ごとに設定します。不在転送先の登録・変更の操作は、「不在 ON」の間でも可能です。

工事設定

この機能を使用する場合は、販売店にご相談ください。

第3章

便利な使いかた

1

受話器を上げる

受話器から、内線発信音が聞こえます。

2

不在転送登録特番を押す

特番の初期設定については、「A-2 特番一覧」(▶ P.402)を参照してください。

3

着信回線種別(0～4)を押す

一括登録の場合は $\textcircled{0}$ 、内線着信の場合は $\textcircled{1}$ 、
外線着信の場合は $\textcircled{2}_{\text{ext}}$ 、専用線着信の場合は $\textcircled{3}_{\text{def}}$ 、
発番号別の場合は $\textcircled{4}_{\text{ext}}$ を押します。

4

転送先の各設定項目を選択する

「不在転送の設定項目と入力する番号」(▶ P.116)に従って、各設定項目の番号と区切り文字 $\textcircled{*}$ を入力します。

5

最後の区切り文字 $\textcircled{*}$ を押す

登録完了音が鳴り、操作した電話機の不在転送先が登録されます。

6

受話器を置く

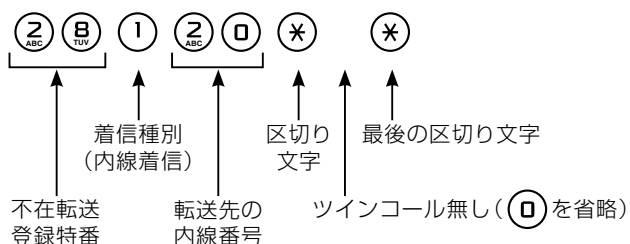
MEMO

プリセットダイヤルのように、受話器を上げずに入力して、最後に $\textcircled{\text{ロスピーカ}}$ を押しても登録できます。

入力例

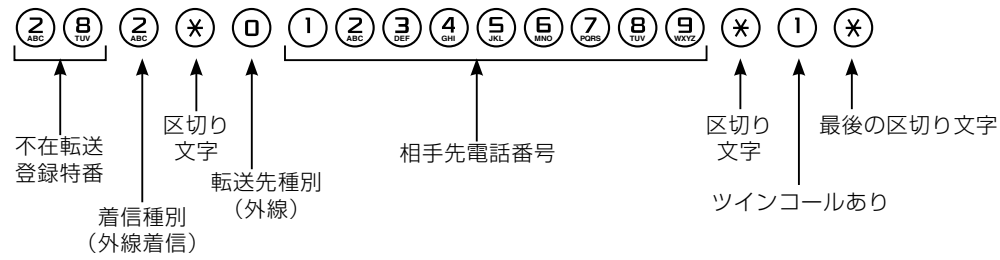
■入力例1:

不在転送登録特番が28で、内線着信を内線番号20に転送する場合(ツインコール無し)



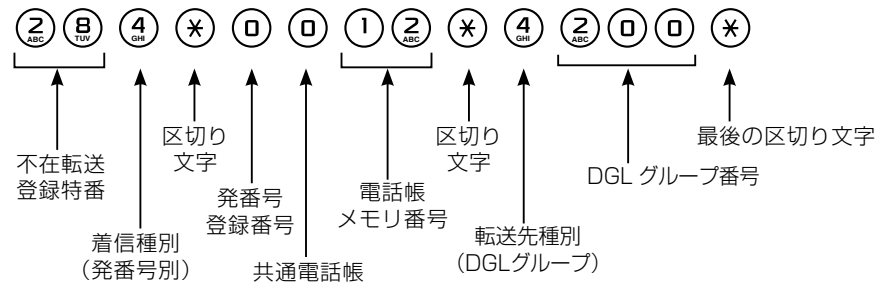
■入力例 2:

不在転送登録特番が 28 で、外線着信を外線(123456789)に転送する場合(ツインコールあり)



■入力例 3:

不在転送登録特番が 28 で、特定の電話番号の相手(共通電話帳のメモリ番号 12 [2 桁設定の場合] に登録されている電話番号)からの着信を DGL グループ(グループ番号 200)に転送する場合



不在転送の設定項目と入力する番号

不在転送登録特番を押したあと、設定項目に従い、以下の表の左から右へ順に番号を入力します。

■ 着信種別が内線着信、外線着信、専用線着信、一括登録の場合

着信種別	区切り文字	転送先		区切り文字	ツインコールの有無(省略可) 省略した場合は「なし」	最後の区切り文字	備考
		転送先種別	転送先番号				
① (内線着信) / ② (外線着信) / ③ (専用線着信) / ④ (一括登録)	—	— (内線)	内線番号	✳	④ / ① (なし / あり)		
	✳	④ (外線)	相手先番号				
		① (外線:特番展開)	特番 + 相手先番号				
		② (外線:PBX)	相手先番号				
		③ (外線:方路指定)	方路番号 + 相手先番号				
		④ (DGLグループ)	DGLグループ番号	※転送先がDGLグループの場合はこの部分は不要です。			
		⑤ (MSAグループ) ※外線着信時のみ	MSAグループ番号	※転送先がMSAグループの場合はこの部分は不要です。			
		⑥ (内線代表転送)	※転送先が内線代表の場合はこの部分は不要です。				
		⑦ (一般着信) ※外線着信時のみ	※転送先が一般着信の場合はこの部分は不要です。				
		⑧ (ガイダンス応答録音) ※外線着信時 / 専用線着信時のみ	応答ガイダンス種別+ガイダンス番号* ¹ → ✳ 終了ガイダンス種別+ガイダンス番号* ² → ✳ MBX番号* ³ → ✳ 録音通知の有無* ⁴ ※「メッセージ録音無し」(応答ガイダンスのみを流す)を設定する場合は、「MBX番号」と「録音通知の有無」の両方(および2つの間の区切り文字)を省略してください。 ※ガイダンス応答録音(不在代行)の詳細は第5章の「不在代行を設定する」(→P.243)を参照してください。				
		⑨ (転送無し)	④ / ① / ② (＜切断＞/＜着信継続＞鳴動なし/鳴動あり) ※省略可(省略した場合は＜切断＞) ※一括登録時はこの部分は入力不可				

*1: 応答ガイダンス種別には、④(固定ガイダンス1) / ①(固定ガイダンス2) / ②(ユーザガイダンス)のいずれかを入力します。②(ユーザガイダンス)のときはガイダンス番号(00～99)を入力します。

*2: 終了ガイダンス種別には、④(固定ガイダンス)、①(ユーザガイダンス)のいずれかを入力します。①(ユーザガイダンス)のときはガイダンス番号(00～99)を入力します。

*3: MBX番号には、代行録音先のメールボックス番号を入力します。

*4: 録音通知の有無には、④(通知無し) / ①(電話呼出) / ②(Eメール通知) / ③(電話呼出+Eメール通知)のいずれかを入力します。

■ 着信種別が発番号別の場合

着信種別	区切り文字	発番号			区切り文字	転送先		区切り文字	ツインコールの有無(省略可) 省略した場合は「なし」	最後の区切り文字
		登録番号	電話帳種別	電話帳メモリ番号		転送先種別	転送先番号			
④ (発番号別)	—	① ～ ⑨ (WXYZ)	① (共通電話帳) / ① (個別電話帳)	電話帳メモリ番号	①	— (内線)	内線番号	①	① / ① (なし / あり)	①
	① (外線)					相手先番号				
	① (外線:特番展開)					特番 + 相手先番号				
	② (外線:PBX)					相手先番号				
	③ (外線:方路指定)					方路番号 + 相手先番号				
	④ (DGLグループ)					DGL グループ 番号	※転送先が DGL グループの場合はこの部分は不要です。			
	⑤ (MSAグループ)					MSA グループ 番号	※転送先が MSA グループの場合はこの部分は不要です。			
	⑥ (内線代表転送)					※転送先が内線代表の場合はこの部分は不要です。				
	⑦ (一般着信)					※転送先が一般着信の場合はこの部分は不要です。				
	⑧ (ガイダンス応答録音)					応答ガイダンス種別+ガイダンス番号 ^{*1} ➡ ① 終了ガイダンス種別+ガイダンス番号 ^{*2} ➡ ① MBX 番号 ^{*3} ➡ ① 録音通知の有無 ^{*4} ※「メッセージ録音無し」(応答ガイダンスのみを流す)を設定する場合は、「MBX 番号」と「録音通知の有無」の両方(および 2 つの間の区切り文字)を省略してください。 ※ガイダンス応答録音(不在代行)の詳細は第 5 章の「不在代行を設定する」(➡P.243)を参照してください。				
	⑨ (転送無し)					① / ① / ② (＜切断＞/＜着信継続＞ 鳴動なし / 鳴動あり) ※省略可(省略した場合は＜切断＞)				

※¹: 応答ガイダンス種別には、①(固定ガイダンス1)/①(固定ガイダンス2)/②(ユーザガイダンス)のいずれかを入力します。②(ユーザガイダンス)のときはガイダンス番号(00～99)を入力します。

※²: 終了ガイダンス種別には、①(固定ガイダンス)、①(ユーザガイダンス)のいずれかを入力します。①(ユーザガイダンス)のときはガイダンス番号(00～99)を入力します。

※³: MBX番号には、代行録音先のメールボックス番号を入力します。

※⁴: 録音通知の有無には、①(通知無し)/①(電話呼出)/②(Eメール通知)/③(電話呼出+Eメール通知)のいずれかを入力します。

話し中の相手の通話に割り込む(割込通話)

受話器から話中音(ビジートーン)が聞こえ、かけた相手が話し中であることに気づいたあとでも、かけ直さずに通話に割り込んで、相手の通話に加わることができます。

工事設定

この機能を使用するには工事設定が必要です。また、割り込みができる内線は特定の内線だけです。販売店にご相談ください。

1 受話器を上げる
受話器から内線発信音が聞こえます。

2 内線番号を押す
受話器から話中音が聞こえます(相手が他者と通話中)。

3 内線割り込み通話特番を押す

- 特番の初期設定については、「A-2 特番一覧」(→ P.402)を参照してください。
- 通話中の2人には、通話割り込み音が聞こえます。
- ☐ (会議) ランプが点灯(赤)し、2人の通話に加わることができます。

4 通話が終了したら受話器を置く

MEMO

- この機能は、SIP 電話機からは使えません。
- 割り込み先が通話録音中のときは、割り込むことができません。
- ご自分の通話を終了しても、割り込み先の通話は継続されます。

他の電話の通話内容を聞く(通話モニタ)

指定した内線や外線、専用線の通話を聞くことができます。通話モニタ中は、相手に自分の声は聞こえません。

内線通話を聞く

1 受話器を上げる
受話器から内線発信音が聞こえます。

2 ☐ (通話モニタ)を押す
☐ (通話モニタ) ランプが中点滅(赤)します。

3 内線番号を押す
☐ (通話モニタ) ランプが点灯(赤)し、指定した内線の通話内容が聞こえます。

4 モニタが終了したら、受話器を置く

外線 / 専用線の通話を聞く

1 受話器を上げる
受話器から内線発信音が聞こえます。

2 ☐ (通話モニタ)を押す
☐ (通話モニタ) ランプが中点滅(赤)します。

3 ☐ (外線) または ☐ (専用線)を押す

- ☐ (通話モニタ) ランプが点灯(赤)し、☐ (外線) ランプが点灯(緑)します。
- 指定した外線または専用線の通話内容が聞こえます。

4 モニタが終了したら、受話器を置く

工事設定

通話モニタができる内線は特定の内線だけです。この機能を使用するには、販売店にご相談ください。

MEMO

- ☐ (通話モニタ) はあらかじめ ☐ に登録しておきます。登録方法は第1章の「オートダイヤルボタンに機能を登録する」(→ P.28)を参照してください。
- 通話モニタ中に ☐ (会議) を押すと、会議通話に切り替わり、通話に割り込むことができます。

5-1 お使いになる前に

● ボイスメールのシステム概要

ボイスメール機能を利用すると、相手のメールボックスに電話で音声のメッセージを送ることができます。Eメールのように相手が不在のときもメッセージを送っておくこと（留守番機能、代行機能）や、一度に複数の人にメッセージを送ることもできます。その他にも、通話を録音したり（通話録音）、外出先から自分のメールボックスを確認する（留守リモコン）など便利な機能があります。

メールボックスとは、音声のメッセージを録音して格納しておくことができる箱のようなものです。それぞれの箱には、番号（メールボックス番号）が付けられ、番号を指定して、メールボックス内のメッセージを再生したり、削除したりすることができます。

メールボックスには、**内線メールボックス**と**共通メールボックス**の2種類があります。

- 内線メールボックスは、各内線電話の利用者が留守番電話のように利用できるメールボックスで、メールボックス番号は内線番号と同じです。
- 共通メールボックスは、テナント内で共通に利用できるメールボックスで、メールボックス番号は共通メールボックス番号として指定された番号です。

MEMO

各メールボックス番号の初期設定については、「A-2 特番一覧」(➡P.402)で、「内線番号特番」と「共通メールボックス番号特番」を参照してください。

■ 特徴

- 外線 / 専用線 / 内線またはドアホンとの通話中、あるいは通話モニタ中に、電話機からのボタン操作により、通話内容を録音することができます（通話録音機能）。
- メッセージの録音 / 再生などのサービスを受けることができます（メールサービス）。
- 録音データは、主装置本体のフラッシュメモリ、またはUSBメモリのどちらか一方に保存します（データ設定で切り替えます）。
- 総録音時間は、主装置本体のフラッシュメモリの場合は約60分、4GBのUSBメモリの場合は約125時間です。
- システム全体の総メールボックス数は、500個までです。
- 1つのメールボックスには、最大1,000件録音することができます。
- システム全体の総録音件数は、10,000件までです。
- 録音メッセージ1件あたりの録音最大時間は255分です（1～255分で指定）。

MEMO

USBメモリは特性上、繰り返し書き込んだり経年劣化によって読み出しや書き込みができなくなります。大切なファイルは定期的にパソコンなどにバックアップしてください。

工事設定

この機能を使用する場合は、販売店にご相談ください。

● メッセージの状態表示

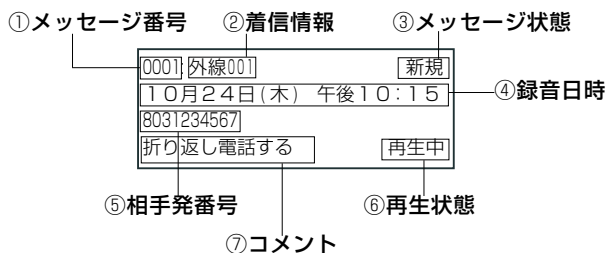
メールセンターに接続してメールボックスにログインすることにより、録音内容を再生したり消去したり、一覧表示したりすることができます。ログイン後には、録音件数を表示してから、そのメッセージの詳細を表示します。メッセージ詳細画面とメッセージ一覧画面は、**短縮/詳細**を押すたびに切り替わります。

詳細表示

0001:内線 10	新規
10月24日(木) 午後10:15	
	再生中

一覧表示

メールサービス	MBX:11
0001:内線 10	@*
0002:312345678901234567890123>>C	
0003: 1/20 10:30	



■ 1 行目

①メッセージ番号

②着信情報

メッセージを録音した相手の情報を示します。

外線のとき：外線番号を表示します。

内線のとき：内線番号または内線名称を表示します。

ドアホンのとき：ドアホン番号またはドアホン名称を表示します。

③メッセージ状態

新規：未再生メッセージです。

保存：保存指定したメッセージです。

消去：消去指定したメッセージです（ログオフ時に消去します）。

■ 2 行目

④録音日時

録音開始の日時を表示します。

■ 3 行目

⑤相手発番号

メッセージを録音した相手の発番号を表示します。メッセージの録音者が電話帳に登録されていれば、電話帳に登録されている漢字名称が表示されます。

■ 4 行目

⑥再生状態

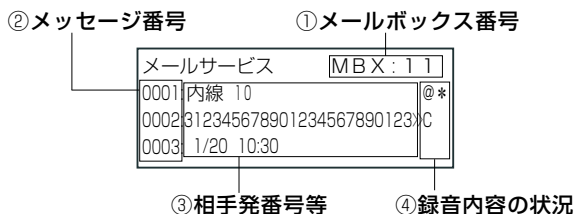
停止：メッセージを再生していない状態です。

再生中：メッセージ再生中の状態です。

一時停止中：メッセージ再生を一時停止の状態です。

⑦コメント

メッセージにコメントが附加されている場合に表示されます（「録音メッセージにコメントを追加する（コメント登録）」（⇒ P.271）を参照）。



■ 1 行目

タイトルとメールボックス番号を示します。

①メールボックス番号

ログインしたメールボックスの番号を表示します。メールボックスに名称が登録されている場合は、メールボックス番号の代わりにメールボックス名称を表示します。

メールボックス名称は全角 4 文字 / 半角 8 文字まで、メールボックスごとに登録できます。

■ 2 行目～4 行目

メッセージの一覧を表示します。

②メッセージ番号

③相手発番号等

メッセージを録音した相手の電話番号を表示します。

- 2 行目の例(0001)：
内線番号 10 の相手が録音したメッセージであることを示しています。

- 3 行目の例(0002)：
電話番号が長い外線相手が録音したメッセージを示しています。ディスプレイに表示されていない部分がある場合(25桁以上のとき)、右端に >> を表示します(拡張表示ボタンを押すと、残りの番号を表示できます)。

- 4 行目の例(0003)：
発番号なしのメッセージについては、相手発番号の代わりに、録音日時を MM/DD HH:MM 形式で表示します。

④録音内容の状況

各記号は以下のような意味を示しています。

- * : 未再生メッセージ(記号は画面の右端に表示)。
- C : 消去指定のメッセージ(記号は画面の右端から 2 文字目に表示)。
- @ : コメントが附加されたメッセージ(記号は画面の右端から 2 文字目に表示)。
- 画面の右端から 2 文字目の記号の表示は、「@」よりも「C」のほうが優先されます。

特番を利用した手順

ここでは、特番を使って不在代行を設定する操作について説明します。特番を使った場合は自内線のみ設定できます。

工事設定

この機能を使用する場合は、販売店にご相談ください。

1 受話器を上げる

受話器から、内線発信音が聞こえます。

2 不在転送登録特番を押す

特番の初期設定については、「A-2 特番一覧」(→ P.402)を参照してください。

3 着信種別(2～4)と区切り文字(*)を押す

- 外線着信の場合は(2_{acc})、専用線着信の場合は(3_{def})を押し、区切り文字(*)を押したあと、手順5へ進みます。
- 発番号別の場合は(4)を押し、区切り文字(*)を押したあと、手順4へ進みます。

4 (「発番号別」を選択した場合) 転送元の電話番号を指定する

電話帳に登録されている番号を「発番号」として登録することで、転送元の電話番号として指定できます。発番号は10件まで登録できます。

以下の番号を順に入力したあと、区切り文字(*)を入力します。

- 発番号登録番号((0)～(9))
- 転送元の電話番号が登録されている電話帳種別:
(0) (共通電話帳) / (1) (個別電話帳)
- 転送元の電話番号が登録されている電話帳メモリ番号

5 (8_{uv})を押して、転送先種別に「ガイダンス応答録音」を選択する

6 応答ガイダンス種別などを選択する

以下の番号と区切り文字(*)を順に入力します。

応答ガイダンス種別	ガイダンス番号	区切り文字
(0) (固定ガイダンス 1)	※ユーザガイダンス のときのみ (0) (0) ~ (9 WXYZ) (9 WXYZ)	(*)
(1) (固定ガイダンス 2)		
(2 _{abc}) (ユーザガイダンス)		
→ 終了ガイダンス種別 → ガイダンス番号 → 区切り文字		
(0) (固定ガイダンス)	※ユーザガイダンス のときのみ (0) (0) ~ (9 WXYZ) (9 WXYZ)	(*)
(1) (ユーザガイダンス)		

→ MBX 番号 (※ 1) (※ 2) → 区切り文字 (※ 2)

(0) (0)	(*)
(9 WXYZ) (9 WXYZ)	
(代行録音先の メールボックス番号)	

→ 録音通知の有無 (※ 2)

(0)
(通知無し)
(1)
(電話呼出)
(2 _{abc})
(E メール通知)
(3 _{def})
(電話呼出 + E メール通知)

(※ 1): MBX 番号の値の範囲は設定されている桁数により異なります(上記は2桁に設定されている場合の例)。

(※ 2): 「メッセージ録音無し」(応答ガイダンスのみを流す)を設定する場合は、「MBX 番号」と「録音通知の有無」の両方(および2つの間の区切り文字)を省略してください。

7 最後の区切り文字(*)を押す

登録完了音が鳴り、操作した電話機の不在代行機能が登録されます。

8 受話器を置く

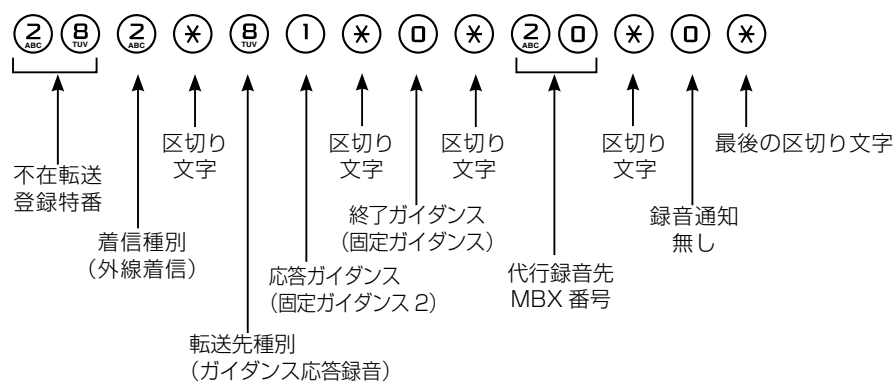
MEMO

- プリセットダイヤルのように、受話器を上げずに入力して、最後に[スピーカ]を押しても登録できます。
- 各ガイダンスの詳細については、「応答ガイダンスの選択(テナントごと)」(→ P.227)、「終了ガイダンスの選択(テナントごと)」(→ P.229)を参照してください。
- メッセージ録音通知の機能を使用する場合は、メールボックスごとに通知先を登録する必要があります。メッセージ録音通知の詳細については、「メッセージが録音されたことを通知する(メッセージ録音通知)」(→ P.267)を参照してください。

■入力例 1:

不在転送登録特番が 28 のときに、外線着信の不在代行を次のように設定する場合

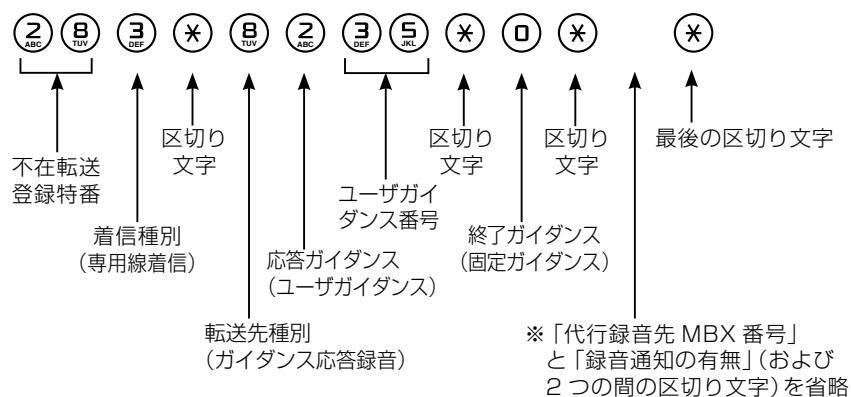
- 応答ガイダンス「固定ガイダンス 2」
- 終了ガイダンス「固定ガイダンス」
- 代行録音の保存先 MBX 番号 20
- 録音通知「無し」



■入力例 2:

不在転送登録特番が 28 のときに、専用線着信の不在代行を次のように設定する場合

- 応答ガイダンス「ユーザガイダンス」、ガイダンス番号 35
- 終了ガイダンス「固定ガイダンス」
- メッセージ録音無し (応答ガイダンスのみ流す)



● 通話録音(通話メモ)

外線 / 専用線 / 内線またはドアホンとの通話中、あるいは通話モニタ中に、電話機のボタン操作で通話内容の録音を開始することができます。

録音した内容はあとからメールボックスにログオンして再生することができます。

また、通話録音用の共通メールボックスをあらかじめ設定しておく、または共通メールボックスに通話を録音しておき、電話の内容により必要な場合のみ、特定の内線(担当者)のメールボックスに保存(録音)できます。

そのときメッセージ録音通知機能を使用することで、重要な通話をメールボックスに録音したことを担当者に自動通知(電話またはEメール)することができます。

工事設定

- 内線 / ドアホンの通話録音を使用するには、工事設定が必要です。販売店にご相談ください。
- 通話録音用の共通メールボックスの設定については、販売店にご相談ください。

注意

相手に無断で通話録音すると、個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。相手の方にお断りの上、通話録音するようにお願いします。

MEMO

- この機能を使う前に、☐ (通話録音)、☐ (一時停止)、☐ (録音終了)、☐ (PB 信号) をあらかじめ ☐ に登録しておきます。登録方法は第1章の「オートダイヤルボタンに機能を登録する」(➡P.28)を参照してください。
- 通話録音中に、☐ (一時停止)、☐ (録音終了) を押して、一時停止 / 再開、録音終了の操作をすることができます。

通話を録音する

外線 / 専用線 / 内線またはドアホンとの通話中、あるいは通話モニタ中に、電話機のボタンを押して、通話内容を録音します。

自内線のメールボックスまたはあらかじめ設定されているメールボックスに録音する

1 通話中に、相手に録音することを伝えてから、☐ (通話録音) を押す

- 受話器で通話録音開始音が鳴り、録音が始まります。また、☐ (通話録音) ランプが点灯(緑)します。
- 録音開始時は、自内線のメールボックス、または設定されている場合は、通話録音用メールボックスに録音されます。
- ドアホン通話録音用メールボックスが設定されている場合は、ドアホンの通話録音はドアホン通話録音用メールボックスに録音されます。

工事設定

- 初期設定では、通話録音用メールボックス / ドアホン通話録音用メールボックス(通話録音用の共通メールボックス)は設定されていません。販売店にご相談ください。
- 初期設定では、☐ (通話録音) を押した時点から録音されますが、通話の先頭から録音されるように設定することもできます。販売店にご相談ください。

MEMO

外線 / 専用線との通話中は、☐ (通話録音) を登録していない場合でも、**(確定)** を押して、外線通話中メニューから通話録音を開始することもできます(第3章の「外線通話中にできる操作」(➡P.169)を参照)。

2 (用件の録音を終了して電話を切る場合) 受話器を置く

- メールボックスに録音内容が保存されます。
- ☐ (通話録音) ランプは消灯し、画面には「通話終了」と表示されます。

<外線通話録音終了時の画面例>

通話終了	3:03
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
本社	

- 数秒経過すると、待受画面に戻ります。
- 録音先のメールボックス番号が登録された ☐ (メールボックス) ランプが遅点滅(緑)し、自内線メールボックスに録音した場合は、自内線の電話機の着信ランプが点灯(ロイヤルブルー(初期値))します(「ボタンとランプ動作一覧」(➡P.219)を参照)。

MEMO

- 録音を終了したときに、電話を切りたくない場合は、手順2で受話器を置く代わりに、☐ (録音終了) を押します。通常の通話の状態に戻れます。
- 最大録音時間はサービスメニューから指定します(➡P.265)。

● メールボックス用電話帳を利用する

メールボックス用電話帳に、録音先のメールボックス番号と名前を登録しておく、録音したいときや再生したいときにメールボックス番号をダイヤルしなくても、登録した名前をメールボックス用電話帳から検索して、保存先や再生先を指定することができます。

メールボックス用電話帳は、共通電話帳の一部として登録します。「電話番号」にはメールボックス番号（内線番号または共通メールボックスの番号）を登録し、「名前」にはメールボックスの持ち主の名前（例えば「開発田中さんのMBX」「開発部門共通 MBX」など）や、特定の製品名（お客様からのコメントなどを録音する場合など）を登録します。また、電話帳を登録するときのグループ分けとして、メールボックス用電話帳を 1 つのグループとして作成しておくと、電話帳を利用するときに便利です（例えば、電話帳グループ名として「MBX 電話帳グループ」を設定するなど）。共通電話帳への電話番号と名前の登録、およびグループ名の設定については、「1-7 電話帳の登録」(➡P.37)を参照してください。

ここでは、登録したメールボックス用電話帳を利用する方法について、説明します。

通話録音の録音先をメールボックス用電話帳で指定する

外線 / 専用線の通話録音で録音先を指定または変更するとき、メールボックス番号を入力する代わりに、メールボックス用電話帳で検索して、指定することができます。

MEMO

メールボックス用電話帳は、外線 / ドアホンの通話録音では利用できません。

1 通話録音を開始する(➡P.251)

2 メールボックス番号を入力する画面、または録音中の画面で、**確定**を押す

例：「MBX10」のメールボックスへ通話録音中の画面

通話録音	2:53
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
お客様 A	
MBX: 10	—

3 [共通電話帳]を選択して、**確定**を押す

《外線通話中メニュー》	▼
共通電話帳	
個別電話帳	
迷惑電話番号	

4 [一覧表示]を選択して、**確定**を押す

《共通電話帳》
一覧表示
番号検索

5 [グループ選択]を選択して、**確定**を押す

《共通電話帳一覧》
全グループ表示
グループ選択

6 メールボックス用電話帳として作成された電話帳グループを選択して、**確定**を押す

《共通グループ選択》	▼
社内	
お客様の声	
協力会社	

7 録音先として指定したいメールボックス（例えば担当者 B）を選択して、**確定**を押す

《共通-お客様の声》	▼
0005: 担当者 B	
0006: 部門 1	
0007: 部門 2	



通話録音	3:03
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
お客様 A	
担当者 B	—

録音先のメールボックスが指定または変更されます。

8 録音が終わったら、受話器を置く

ランプ表示などの詳細は、「ボタンとランプ動作一覧」(➡P.219)を参照してください。

MEMO

グループ選択以外の操作方法については、第 3 章の「共通電話帳 / 個別電話帳を表示・検索する」(➡P.170)を参照してください。

各録音機能でメッセージ録音通知の有無と録音通知方法を選択する

メッセージ録音通知機能を使用するには、通知先を登録したあと、以下の各録音機能でそれぞれ、録音通知の有無と以下のいずれかの録音通知方法を選択する必要があります。

- 電話での通知(電話呼出)
- E メールでの通知(E メール通知)
- 電話と Eメールの両方での通知(電話呼・E メール通知)

※ P.268～P.269の操作またはWeb設定の「録音通知先設定」で登録したメッセージ録音の通知先は、以下のすべての機能で使用されます。

録音機能	録音通知の有無と通知方法を選択する操作	参照先
留守番機能	—	—
応答録音(留守録) (留守番モード自動切替時)	留守番機能の動作設定として選択します。 電話機のサービスメニューまたは Web 設定で設定できます。	「自動切替時の留守番機能の動作を設定する」 (➡ P.231)
応答録音(留守録) (留守番モード手動切替時)	留守番機能の動作設定として選択します。 電話機のサービスメニューまたは Web 設定で設定できます。	「留守モード中のメッセージ録音通知の有無と録音通知方法を選択する」(➡ P.230)
ワンショット留守番	留守番機能の動作設定として選択します。 電話機のサービスメニューまたは Web 設定で設定できます。	「ワンショット留守番」(➡ P.240)
各種代行機能	—	「各種代行機能」(➡ P.243)
外線着信代行	販売店による工事設定が必要です。	「外線着信代行を設定する」(➡ P.250)
不在代行	不在代行の動作設定として選択します。 電話機のサービスメニュー、特番、または Web 設定で設定できます。	「不在代行を設定する」(➡ P.243)
無応答代行	無応答代行の動作設定として選択します。 電話機のサービスメニューまたは Web 設定で設定できます。	「無応答代行を設定する」(➡ P.248)
圏外代行	圏外代行の動作設定として選択します。 電話機のサービスメニューまたは Web 設定で設定できます。	「圏外代行を設定する」(➡ P.249)
話中代行	話中代行の動作設定として選択します。 電話機のサービスメニューまたは Web 設定で設定できます。	「話中代行を設定する」(➡ P.247)
通話録音機能	—	—
通話録音(通話メモ)	録音通知の有無は、初期設定で「通知無し」に設定されています。初期設定を変更するには工事設定が必要ですが、通話録音中に  (録音通知) を押すことで、現在録音中の通話に対する録音通知の有無を切り替えることができます。 録音通知方法は、初期設定「電話呼出」です。変更する場合は販売店による工事設定が必要です。 ※通話録音中の通話を保留した場合、再応答後の録音通知の設定は、録音メッセージの保存先メールアドレスで設定されている通知設定に切り替わります。	「通話を録音する」(➡ P.251)
自動通話録音	通話録音(通話メモ)と同じです。	「自動で通話が録音されるように設定 / 解除する(自動通話録音)」(➡ P.254)
公・公転送自動通話録音	販売店による工事設定が必要です (初期設定：通知無し)。	外線着信を共通電話帳に登録されている番号と一致する番号へ自動転送して、相手が応答したとき、自動的に通話録音を開始する機能です。 この機能を使用する場合は販売店にご相談ください。
クイックメッセージ録音	販売店による工事設定が必要です (初期設定：通知無し)。 ※外線 / 専用線からのメッセージの録音時のみ通知することができます。	「メールアドレスにメッセージを録音する(クイックメッセージ録音)」(➡ P.266)
メールアドレス間メッセージ転送	販売店による工事設定が必要です (初期設定：通知無し)。	「録音されているメッセージを他のメールアドレスへ転送する(メールアドレス間メッセージ転送)」(➡ P.264)

● アナログ電話機の基本操作

アナログ電話機で利用できる機能のほとんどは、フッキングと特番ダイヤルの組み合わせで操作できます。

フッキング操作について

通話中に電話機のフックスイッチを「ボンッ」と押すことをフッキング操作と呼びます。
アナログ電話機では、通話の保留時や、さまざまな機能の利用開始時にフッキング操作を行います。

MEMO

アナログ電話機によっては、フッキング専用のボタンがあります。

フッキング操作のときに長くフックスイッチを押していると、電話が切れたり（転送のときなど）、呼び返しで着信音が鳴ったり（保留操作のときなど）しますので、ご注意ください。

特番ダイヤルについて

アナログ電話機で利用できる特番は以下のとおりです。特番の初期設定の値や付加情報については、「A-2 特番一覧」(➡ P.402)を参照してください。

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|------------|
| ● 自動選局 | ● 代理応答 | ● フックフラッシュ送出 | ● 外部スピーカ呼出 |
| ● リダイヤル | ● グループ指定代理応答 | ● 会議 | ● 外部スピーカ応答 |
| ● 共通電話帳 | ● 不在 | ● 内線グループ音声呼出 | |
| ● パーク保留 / 応答 | ● FAX 転送 | ● 不在転送登録 | |

● アナログ電話機特有の機能について

アナログ電話機接続回路や単独電話増設ポートまたはパッケージを介してアナログ電話機を接続することで、アナログ電話機特有の機能（ナンバーディスプレイ機能、切断信号の送出機能）が利用できるようになります。

ナンバーディスプレイについて

ナンバーディスプレイ対応のアナログ電話機を接続すると、外線から電話をかけてきた相手の電話番号をディスプレイで確認できます。

工事設定

ナンバーディスプレイ機能を利用するには、工事設定が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

MEMO

ナンバーディスプレイを使用する設定にしているとき、ナンバーディスプレイに対応していないアナログ電話機を接続すると、一次着信音が約 6 秒間鳴ってから通常の着信音が鳴ります。

切断信号の送出について

アナログ電話機で着信に応答した場合や、アナログ電話機から電話をかけた場合に、通話相手が先に電話を切ると、相手が電話を切ったことが信号により通知されます。この信号を受けると、アナログ電話機側には話中音が聞こえます。

A-2 特番一覧

特番サービスを利用すると、オートダイヤルボタンのない電話機でも、以下のような機能を行うことができます。
特番は 1 ～ 3 桁の番号で設定されています。

工事設定

特番の初期値が設定されていない機能を利用する場合や、すでに設定されている特番の初期値を変更する場合には、工事設定が必要になります。詳しくは販売店にご相談ください。

呼種別 No.	特番名	初期値	付加データ	特番入力後に入力する情報
01	内線番号	S タイプ主装置： 10 ～ 39 [2 桁] M タイプ主装置： 200 ～ 499 [3 桁] L タイプ主装置： 2000 ～ 4999 [4 桁]	内線番号桁数 (1 ～ 4)	—
02	閉番号	—	方路番号 (0 ～ 63)、 閉番号桁数 (1 ～ 11)	—
03	拡張内線番号	—	拡張内線番号桁数 (1 ～ 4)	—
04	共通メールボックス番号 (※)	S タイプ主装置： 50 ～ 59 (2 桁) M/L タイプ主装置： 80 ～ 89 (2 桁)	共通 MBX 番号桁数 (1 ～ 8)	—
08	迂回閉番号	—	閉番号桁数 (1 ～ 4)、 迂回グループ番号 (0 ～ 29)	—
09	迂回方路選局	—	迂回グループ番号 (0 ～ 29)	—
10	方路選局	—	方路番号 (0 ～ 63)	—
11	固定選局	—	回線種別 (1 ～ 3) 1: VoIP、 2: ひかり、 3: PHS	—
12	自動選局	0	—	—
13	指定外線捕捉	S タイプ主装置： 83 M/L タイプ主装置： 13	—	外線番号 / 専用線番号 (01 ～ 99、001 ～ 192)
14	指定 MSA 捕捉	—	MSA グループ番号 (00 ～ 99、000 ～ 254)、 および MSA シーケンス番号 (0 ～ 254)	—
15	リダイヤル	S タイプ主装置： 80 M/L タイプ主装置： 10	—	—
16	共通電話帳	6	—	電話帳メモリ番号 (0000 ～ 9999)
17	個別電話帳	—	—	電話帳メモリ番号 (0000 ～ 9999)
19	パークシーケンス保留 / 応答	—	—	パークシーケンス番号 (000 ～ 127)

呼種別 No.	特番名	初期値	付加データ	特番入力後に入力する情報
20	パーク保留 / 応答	S タイプ主装置： 84 M/L タイプ主装置： 14	—	パークトランク番号 (000 ~ 127)
21	代理応答	S タイプ主装置： 81 (全て) M/L タイプ主装置： 11 (全て)	0: 全て、 1: 内線のみ、 2: 内線 + 専用線、 3: 外線のみ	—
22	任意パーク保留	—	—	—
23	グループ指定代理応答	9 * (全て)	0: 全て、 1: 内線のみ、 2: 内線 + 専用線、 3: 外線のみ	代理応答グループ番号 (00 ~ 99)、 * (全グループ)、 # (自分の所属するグループ内)
24	集中着信	—	—	0: 解除 1: 登録
25	不在	—	—	不在理由を以下から選択。 0: 解除、1: 外出中、2: 会議中、 3: 来客中、4: 食事中、 5: 出張中、6: 休暇中、 7: 帰宅、8: 直帰、 9: 直行直帰
26	FAX 転送	99	—	—
27	DGL 呼数制限	—	—	0: 解除、1: 登録 + DGL グループ番号 (00 ~ 99、000 ~ 254)
28	最終保留応答	* 2	—	—
30	トーンオーバーライド (※)	—	—	—
31	フックフラッシュ送出	—	—	—
32	会議	—	—	—
33	内線割り込み通話	—	—	内線番号
35	内線予約	—	—	—
36	パークシーケンス保留	—	—	パークシーケンス番号 (000 ~ 127)
37	パーク保留	—	—	パークトランク番号 (000 ~ 127)
39	緊急一斉呼出	—	—	—
40	内線グループ音声呼出	* 0 (外部スピーカ無し)	0: 外部スピーカ無し、 1 ~ 6: 外部スピーカ番号 (工 事設定: 1 ~ 6)、 7: 全外部スピーカ	* (全グループ)、 内線グループ番号 (000 ~ 127)
42	内線グループ音声呼出応答	# 0	—	* (全グループ)、 内線グループ番号 (000 ~ 127)
43	外部スピーカ呼出	* 9	—	外部スピーカ番号 0: 一斉 (全スピーカ)、 M/L タイプ主装置の場合： 1 ~ 6、 S タイプ主装置の場合： 1 ~ 2

呼種別 No.	特番名	初期値	付加データ	特番入力後に入力する情報
44	外部スピーカ応答	# 9	—	外部スピーカ番号 0: 一斉(全スピーカ)、 M/L タイプ主装置の場合: 1 ~ 6、 S タイプ主装置の場合: 1 ~ 2
45	DGL グループ呼出	—	—	DGL グループ番号 (00 ~ 99、000 ~ 254)
46	メールアクセス	91	—	—
47	ドアホンアクセス	98	—	ドアホン番号 0: 一斉(全ドアホン)、 M/L タイプ主装置の場合: 1 ~ 9、 S タイプ主装置の場合: 1 ~ 3
48	MSA グループ呼出(※)	—	—	MSA グループ番号 (00 ~ 99、000 ~ 254)
61	ウェイクアップコール	—	—	0: 解除 1: 登録 登録の場合: 時刻 4 桁固定(0000 ~ 2359)
65	ハードフォン連携解除	—	—	—
73	音声非圧縮特番	—	—	—
74	転送リモコン(※)	92	—	—
75	留守リモコン(※)	93	—	—
76	セーフティリモコン	—	1. セーフティリモコン A 2. セーフティリモコン B	—
77	自動録音	—	—	自動録音モード 0: 解除、1: 設定
78	FMC 付加番号 DID 発信 (※)	—	—	—
81	不在転送登録	—	—	着信回線種別 0: 一括登録 1: 内線着信 2: 外線着信 3: 専用線着信 4: 発番号別 ※着信回線種別のあと、転送 先を入力。詳細は、第 3 章の 「不在転送先を設定する(不 在転送設定) - 特番 -」(➡ P.114)を参照。

- (※)を付けた特番以外は、内線捕捉中に使用できる特番です。
- 共通メールボックス番号特番は、メールボックス指定時にのみ使用できます。
- トーンオーバーライド特番は、話中音(ビジートーン)が聞こえているときに使用できます。
- 内線番号特番、内線割り込み通話特番、内線予約特番は、内線捕捉中のほか、話中音(ビジートーン)が聞こえているときにも使用できます。
- 転送リモコンと留守リモコンは、SIP 専用線での付加番号 DID 着信時は無効な特番です。

A-7 オートダイヤルボタン機能一覧表

各電話機のオートダイヤルボタンに割付できる機能（機能種別番号と機能名）および付加情報は、以下のとおりです。

付録

機能種別 No	機能名	機能種別 No	機能名	機能種別 No	機能名
01	リダイヤル	28	ワン留守	51	ワンタッチボタン
02	電話帳	29	通話録音	52	DSS
03	代理応答	30	メールアクセス	53	メールボックス
04	指定代理応答	31	録音終了	54	ホテル管理 ※ 1
05	夜間切替	32	一時停止	55	集中着信
06	クラス切替	33	録音転送※ 1	59	DGL 呼数制限
08	自己保留	34	停電	60	機能
09	着信ウェイト	35	拡張表示	61	フラッシュ
10	留守番	36	着信拒否	62	W 機能(外線自動転送&留守録)
11	着信拒否切替	37	コメント	63	W 機能(外線時号転送&手動夜間設定)
12	不在	38	外線転送	64	W 機能(留守番&手動夜間設定)
13	通話表示	39	FAX	65	W 機能(着信鳴動拒否&不在モード)
14	会議	40	いらっしゃいまセンサ	66	外線 / 専用線
15	内線予約	41	警戒	67	ドアホン
16	通話モニタ	42	MFP	68	DGL
17	PB 信号	43	消耗品	69	MSA
18	キーパッド	45	緊急一斉呼出	70	方路発信
21	発信	46	送話ミュート	71	応答
24	録音通知	47	サイレント	72	パーク
25	時刻アラーム	48	子機サイレント	74	メニューショートカット
26	着信表示	49	マイク		
27	用件操作	50	電話帳ワンタッチ		

※ 1 M/L タイプのみ割付可能

機能種別 No.	機能名	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	備考
01	リダイヤル	—	—	—	—	—
02	電話帳	電話帳種別(個別 / 共通)	1: 共通電話帳 2: 個別電話帳	—	—	初期設定で割付済(デジタルコードレス電話機(DC)のみ)。
03	代理応答	応答種別	1: 全て 2: 内線のみ 3: 内線 + 専用線 4: 外線のみ	—	—	代理応答グループ内の着信を代理応答。 初期設定で割付済(デジタルコードレス電話機(DC)のみ)
04	指定代理応答	応答種別	1: 全て 2: 内線のみ 3: 内線 + 専用線 4: 外線のみ	—	—	指定した代理応答グループ内の着信を代理応答(本ボタンを押したあとにグループ番号をダイヤル)

機能 種別 No.	機能名	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	備考
05	夜間切替	テナント番号	00 ～ 99	ワンタッチ切替	1: なし 2: 夜間 A-1 3: 夜間 A-2 4: 夜間 A-3 5: 夜間 B	—
06	クラス切替	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—
08	自己保留	動作指定	1: 乗り換え 2: チェンジオーバー	—	—	初期設定で割付済 (デジタルコード レス電話機 (DC)、 カールコードレス 電話機 (CL) (子機)、 コードレス電話機 (WSd) (子機) を除 く)
09	着信ウェイト	—	—	—	—	—
10	留守番	テナント番号	00 ～ 99	留守番動作指定	1: 設定に従う 2: ユーザ選択 方式	—
11	着信拒否切替	テナント番号	00 ～ 99	—	—	多機能電話機、カール コードレス電話 機 (CL) (親機) のみ 割付可能
12	不在	—	—	—	—	—
13	通話表示	—	—	—	—	—
14	会議	—	—	—	—	—
15	内線予約	—	—	—	—	—
16	通話モニタ	—	—	—	—	—
17	PB 信号	—	—	—	—	—
18	キーパッド	—	—	—	—	—
19	—	—	—	—	—	—
20	—	—	—	—	—	—
21	発信	—	—	—	—	—
22	—	—	—	—	—	—
23	—	—	—	—	—	—
24	録音通知	—	—	—	—	—
25	時刻アラーム	—	—	—	—	多機能電話機、カール コードレス電話 機 (CL) (親機) のみ 割付可能
26	着信表示	—	—	—	—	—
27	用件操作	操作種別	1: 前のメッセージ 2: 次のメッセージ 3: 頭出し 4: 保存 5: 消去 6: 一時停止 7: 早送り 8: 巻戻し 9: メッセージ転送	メールボックス 番号 (1 ～ 4 桁) ※付加情報 1 が 「9: メッセージ 転送」の場合 のみ設定	0000 ～ 9999	
28	ワン留守	—	—	—	—	ワンショット留守 番機能を起動する

機能 種別 No.	機能名	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	備考
29	通話録音	—	—	—	—	通話録音を開始する。通話録音中に押すと通話録音を取り消す。
30	メールアクセス	—	—	—	—	メールアクセスする
31	録音終了	—	—	—	—	通話録音を終了する
32	一時停止	—	—	—	—	通話メモ録音を一時停止する
33	録音転送	—	—	—	—	録音転送を実施する
34	停電	—	—	—	—	デジタルコードレス電話機(DC)は割付不可
35	拡張表示	—	—	—	—	発着歴の桁あふれ表示用
36	着信拒否	—	—	—	—	—
37	コメント	コメント番号	01 ~ 50	—	—	録音中に押すことで録音メッセージにタイトルかコメントを登録可能
38	外線転送	外線転送モード	1 ~ 4	テナント番号	00 ~ 99	デジタルコードレス電話機(DC)は割付不可
39	FAX	FAX 番号(FAX1/FAX2)	1、2	—	—	FAXへの着信の有無を表示
40	いらっしゃいまセンサ	いらっしゃいまセンサグループ	1:いらっしゃいまセンサA 2:いらっしゃいまセンサB	—	—	いらっしゃいまセンサA / いらっしゃいまセンサBのモード設定 / 解除。 デジタルコードレス電話機(DC)は割付不可
41	警戒	セーフティグループ	1:警戒 A 2:警戒 B	—	—	セーフティ A / セーフティ B のモード設定 / 解除。 デジタルコードレス電話機(DC)は割付不可
42	MFP	プリンタ No	01 ~ 30: プリンタ番号	—	—	プリンタ複合機(MFP)の現在の状態を表示する
43	消耗品	プリンタ No	00:全プリンタ 01 ~ 30: プリンタ番号	—	—	プリンタ複合機(MFP)の消耗品情報を表示する
44	—	—	—	—	—	—
45	緊急一斉呼出	—	—	—	—	デジタルコードレス電話機(DC)は割付不可
46	送話ミュート	—	—	—	—	—
47	サイレント	—	—	—	—	多機能電話機、カーコードレス電話機(CL) (親機)のみ割付可能

機能種別 No.	機能名	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	備考
48	子機サイレント	—	—	—	—	カールコードレス電話機 (CL) (子機)、コードレス電話機 (WSd) (子機) のみ割付可能
49	マイク	—	—	—	—	デジタルコードレス電話機 (DC) は割付不可
50	電話帳ワンタッチ	電話帳種別 (個別 / 共通)	—	(電話帳メモリ番号)	—	[ファンクション割付] メニューではなく、[電話帳ワンタッチ割付] メニューで登録 (➡ P.30)
51	ワンタッチボタン	ダイヤル情報最大 32 桁 (※) ※ネスティング入力可	—	(番号種別)	—	[ファンクション割付] メニューではなく、[ワンタッチ割付] メニューで登録 (➡ P.31)
52	DSS	内線番号最大 4 桁	0000 ~ 9999	—	—	[ファンクション割付] メニューではなく、[DSS 割付] メニューで登録 (➡ P.34)
53	メールボックス	共通内線番号 (1 ~ 4 桁)	0000 ~ 9999	表示種別	1: 詳細 2: 一覧	メールセンターにアクセスする (クイックログオン)。メールアクセス / クイックメッセージ録音でメールボックス番号を指定する。 [ファンクション割付] メニューではなく、[メールボックス割付] メニューで登録 (➡ P.33)
54	ホテル管理	0: チェックイン 1: チェックアウト 2: 清掃開始 3: 清掃完了 4: 点検完了 5: 外出 6: 在室 7: ウェイクアップ コール 8: メッセージウェ イティング 9: 客室情報表示 10: 故障 11: ルームチェンジ	0 ~ 19 (予備含む)	—	—	デジタルコードレス電話機 (DC) は割付不可。 販売店による工事設定のみ可能
55	集中着信	—	—	—	—	—
56	—	—	—	—	—	—
57	—	—	—	—	—	—
58	—	—	—	—	—	—
59	DGL 呼数制限	DGL グループ番号	00 ~ 99/ 000 ~ 254	—	—	—
60	機能	—	—	—	—	—
61	フラッシュ	—	—	—	—	—




機能種別 No.	機能名	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	備考
62	W 機能(外線自動転送&留守録)	外線転送モード	1 ~ 4	—	—	—
63	W 機能(外線自動転送&手動夜間設定)	外線転送モード	1 ~ 4	夜間モード	1:夜間 A-1 2:夜間 A-2 3:夜間 A-3 4:夜間 B	—
64	W 機能(留守番&手動夜間設定)	夜間モード	1:夜間 A-1 2:夜間 A-2 3:夜間 A-3 4:夜間 B	—	—	—
65	W 機能(着信鳴動拒否&不在モード)	不在理由	1 ~ 9	—	—	—
66	外線 / 専用線	外線番号(回線 / 仮想 SC)	01.00 ~ 24.99/ 40.00 ~ 41.99	—	—	販売店による工事設定のみ可能。 外線ボタンは、初期設定で割付済
67	ドアホン	ドアホン番号	1 ~ 9(M/L タイプ主装置の場合)、 1 ~ 3(S タイプ主装置の場合)	—	—	販売店による工事設定のみ可能
68	DGL	DGL グループ番号	000 ~ 254	—	—	販売店による工事設定のみ可能
69	MSA	MSA グループ番号	000 ~ 254	シーケンス番号	000 ~ 254	販売店による工事設定のみ可能
70	方路発信	方路番号	00 ~ 63	—	—	販売店による工事設定のみ可能
71	応答	方路指定	0:指定無し、 1:指定有り	(方路指定有りのときだけ)方路番号	00 ~ 63	販売店による工事設定のみ可能
72	パーク	パーク番号	000 ~ 127	—	—	パーク保留 / 保留 応答する。 販売店による工事設定のみ可能。
73	—	—	—	—	—	—
74	メニューショートカット	—	—	—	—	サービスメニューからのみ割付可能
75	—	—	—	—	—	—

A-8 メニューショートカット一覧表



オートダイヤルボタンにメニューショートカットを登録しておく、待機中にメニューショートカットボタンを押すことで、そのボタンに登録された任意のメニュー画面を 1 操作で表示することができ、メニュー操作の各階層をショートカットで起動することができます。

ここでは、メニューショートカットに登録できるメニュー画面について、一覧でまとめてあります。

■メニューショートカットボタンを割り付けるには

登録したいサービスメニューの画面を表示した状態で、 を押したあと、未登録のオートダイヤルボタン  を押します。この操作により  を、表示中のメニュー画面へのメニューショートカットボタンとして割り付けることができます。

MEMO

-  が無い電話機（コードレス電話機（WSd）、デジタルコードレス電話機（DC）など）で利用する場合でも、オートダイヤルボタンに （機能）を割り付けることにより操作できます。オートダイヤルボタンへの機能の割り付けについては、第 1 章の「オートダイヤルボタンに機能を登録する」(➡ P.28)を参照してください。
- メニューショートカットボタンの割り付けを解除する方法は、オートダイヤルボタンへの機能の登録を削除する方法と同じです。第 1 章の「オートダイヤルボタンへの機能の登録を削除する」(➡ P.29)を参照してください。

■メニューショートカットに登録できるメニュー画面

 : システム管理電話機でのみ操作可能（一般ユーザ電話機では操作できない）項目

注意

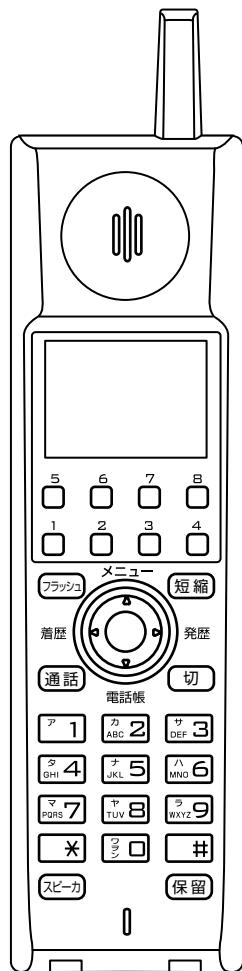
システム管理電話機でメニューショートカットボタンに登録したあと、その電話機を一般ユーザ電話機に変更した場合は、システム管理電話機でのみ操作可能なメニューに登録したメニューショートカットボタンはエラーになります。

メニュー階層 1	メニュー階層 2	メニュー階層 3	メニュー階層 4	メニュー階層 5
1. 履歴 (発信 / 着信)	1. 発信履歴	—	—	—
	2. 共通着信履歴	—	—	—
	3. 個別着信履歴	—	—	—
2. 電話帳	1. 新規登録	1. 共通電話帳	—	—
		2. 個別電話帳	XXX(内線番号)	—
	2. 一覧表示	1. 共通電話帳一覧	—	—
		2. 個別電話帳一覧	—	—
	3. 番号検索	1. 共通電話帳	1. メモリ No. 検索	—
			2. カナ検索	—
		2. 個別電話帳	XXX(内線番号)	1. メモリ No. 検索 2. カナ検索
	4. 電話帳グループ	1. 共通電話帳	—	—
		2. 個別電話帳	XXX(内線番号)	—
3. 内線一覧	1. 一覧表示	—	—	—
	2. 内線検索	—	—	—
	3. 内線カナ検索	—	—	—
4. 転送設定	1. 不在転送設定	—	—	—
	2. 話中転送設定	—	—	—
	3. 無応答転送設定	—	—	—
	4. 圏外転送設定	—	—	—
	5. 外線転送設定	—	—	—
	6. DGL 無応答転送設定	—	—	—
	7. MSA 無応答転送設定	—	—	—

メニュー階層 1	メニュー階層 2	メニュー階層 3	メニュー階層 4	メニュー階層 5
	8. 一般無応答転送設定	—	—	—
	9. 転送リモコン用暗証番号	—	—	—
5. 録音関連設定	1. 留守番設定	—	—	—
	2. メールボックス録音通知設定	—	—	—
	3. メッセージの一括削除	—	—	—
	4. メールボックス暗証番号	—	—	—
	5. ボイスメール属性	—	—	—
6. オートダイヤル	1. ファンクション割付	—	—	—
	2. メールボックス割付	—	—	—
	3. DSS 割付	—	—	—
	4. ワンタッチ割付	—	—	—
	5. 電話帳ワンタッチ割付	—	—	—
	6. 割付クリア	—	—	—
7. 応答ガイダンス管理	1. 転送元ガイダンス設定	—	—	—
	2. 転送先ガイダンス設定	—	—	—
	3. ユーザガイダンス管理	—	—	—
	4. 着信ウェイトガイダンス	—	—	—
8. 音設定	1. 着信音量	1. 外線着信音量	—	—
		2. 内線着信音量	—	—
		3. ドアホン着信音量	—	—
		4. 話中着信音量	—	—
	2. ハンドセット受話音量	—	—	—
	3. スピーカ受話音量	—	—	—
	4. メロディ設定	—	—	—
	5. ボタン押下音設定	—	—	—
	6. 側音量	—	—	—
	7. 各種音種	1. 外線別着信音種	—	—
		2. 内線別着信音種	—	—
		3. 話中着信音設定	—	—
		4. 標準保留音種	—	—
		5. システム間外線着信音	XXX (SIP 専用線グループ番号)	—
	1. 着信ランプ	1. 外線一般系着信	—	—
		2. 外線個別着信	—	—
		3. 専用線着信	—	—
		4. 内線着信	—	—
		5. ドアホン着信	—	—
		6. 録音表示	—	—
		7. 時刻アラーム	—	—
		8. FAX 着信	—	—
		9. 不応答着信	—	—
	2. 履歴表示設定	1. 発信履歴	—	—
		2. 着信履歴	—	—
9. 表示設定	3. 表示形式設定	1. 着信表示設定	—	—
		2. 待機表示設定	—	—
		3. 時刻表示設定	—	—
		4. 表示文字設定	—	—

メニュー階層 1	メニュー階層 2	メニュー階層 3	メニュー階層 4	メニュー階層 5
0. その他		5. LCD コントラスト調整	—	—
		6. LCD バックライト設定	—	—
	1. システム情報	1. システムバージョン確認	—	—
		2. 内外線収容位置表示	—	—
	2. システム設定	1. システム管理電話機設定	—	—
		2. ACR 利用	—	—
		3. 全電話機アラーム解除	—	—
		4. 理由表示設定	—	—
		5. 迷惑電話番号	—	—
		6. 発信禁止番号	—	—
		7. FAX 設定	—	—
		8. チャイムタイム設定	—	—
	3. カレンダー / 時計設定	1. 日時変更	—	—
		2. 祝祭日登録	—	—
		3. 特定日登録	—	—
		4. 休日パターン	—	—
	4. 電話機	1. 外線着信鳴動拒否設定	—	—
		2. ハンズフリー応答設定	—	—
		3. 時刻アラーム	—	—
		4. ヘッドセット接続設定	—	—
		5. 子機サイレント設定 ※カールコードレス電話機 (CL) (子機)、コードレス 電話機 (WSd) (子機) のみ	—	—
	5. ネットワーク	1. 主装置	—	—
		2. IPST	—	—
		3. SIPT	—	—
		4. その他 IP	—	—
		5. IPHO	—	—
		6. IPKD	—	—
		7. IPFU	—	—
		8. BRGI	—	—
		9. IPVMLC	—	—
		0. IPZC	—	—
	6. セーフティ設定	1. セーフティグループ A	—	—
		2. セーフティグループ B	—	—
		3. 威嚇音設定	—	—
	7. 名称設定	1. DGL グループ名称	—	—
		2. MSA グループ名称	—	—
		3. テナント名称	—	—
		4. ドアホン名称	—	—
		5. 外部スピーカ名称	—	—
		6. リレー名称	—	—
		7. 外部センサ名称	—	—
		8. メールボックス名称	—	—
	8. コンテンツ設定	1. ですく deRSS 利用設定	—	—
		2. コンテンツ表示	—	—
	9. 手動バックアップ	—	—	—

●詳しくは、取扱説明書をご覧ください。



電話をかける	外線にかける	<p>通話 → 《自動選局特番[]》 → 電話番号 → <通話> → 切</p> <p><プリセットダイヤルの場合> 電話番号(*) → 通話 → <通話> → 切</p>
	内線にかける	<p>スピーカ → 内線番号 → <通話> → 切</p> <p><内線プリセット発信の場合> 内線番号(*) → スピーカ → <通話> → 切</p>
かけ直す		<p><input type="checkbox"/> (リダイヤル) → <通話> → 切</p> <p><サービスメニューを使用する場合> 〇 → 〇 で発信履歴を選択 → 通話 → <通話> → 切</p>
電話を受ける		<p><着信音> → 通話 → <通話> → 切</p> <p>● 子機が親機または充電器にある場合には、通話 の代わりに「子機を充電器からあげる」ことで受けることもできます。</p>
一時的に保留する		<p><通話中> → 保留 → <保留状態> → 切 → <呼び返し> → 通話 → <通話> → 切</p>
転送	外線を 口頭で転送	<p>(転送する人) <通話中> → 保留 → 切 → <input type="checkbox"/> 口頭で連絡 「〇〇さん△△番に外線です」 工事設定</p> <p>● 保留 の代わりに <input type="checkbox"/> (パーク) を押すか、 《パーク保留 / 応答特番[]》を押しても転送できます。</p> <p>(受ける人) 点滅している <input type="checkbox"/> (外線) → <通話> → 切 工事設定</p> <p>● 転送する側が <input type="checkbox"/> (パーク) を押した場合、<input type="checkbox"/> (外線) の代わりに該当する番号の <input type="checkbox"/> (パーク) を押して転送できます。</p>
	内線番号で転送	<p><通話中> → 保留 → 転送先内線番号 → <通話> → フラッシュ → 切</p>

(※) 電話番号をダイヤルしてから 通話 を押して電話をかける（プリセットダイヤル）場合は、電話番号を間違えたときに次の操作でダイヤルしなおすことができます。

- ・ 番号の最後から1ケタずつ消すとき： フラッシュ
- ・ 番号すべてを消してダイヤルしなおすとき： 切

- コードレス電話機(WSd)およびカールコードレス電話機(CL)の親機または充電器から上げている状態を基本とします。
- ☐ (リダイヤル)、☐ (パーク) はあらかじめ登録しておきます。 **工事設定**
- ☐ (外線) は、初期設定で割り付けられています。
- 特番をダイヤルする箇所には、[] 欄を設けていますので、実際にご使用になる特番をご記入ください。
- 特番については販売店にお問い合わせください。

自動転送	不在時の転送を設定する	<input type="checkbox"/> (不在) → で不在理由を選択 → • <input type="checkbox"/> (不在) はあらかじめ登録しておきます。 (通話) → 《不在特番[]》 → ~ で不在理由を選択 →
	不在時の転送を解除する	点灯(赤)している <input type="checkbox"/> (不在) (通話) → 《不在特番[]》 → (不在解除) →
	不在時の転送先を設定する	(内線/外線/専用線からの着信を内線に転送する場合) (通話) → 《不在転送登録特番[]》 → ~ で着信種別を選択 (:一括登録) → 転送先の内線番号を入力 → → / でツインコールの有無を選択 → → (内線/外線/専用線からの着信を外線に転送する場合) (通話) → 《不在転送登録特番[]》 → ~ で着信種別を選択 (:一括登録) → → 転送先種別 を選択 → 転送先の電話番号を入力 → → / でツインコールの有無を選択 → → ※ は省略可 • 発番号別の転送先設定 (着信種別) や内線 / 外線以外の転送先 (転送先種別 ~) については、『取扱説明書(多機能電話機編)』または『取扱説明書(Web 設定編)』を参照してください。

検索して電話をかける				
サービスメニューを使う	1 待受状態で を押す	2 で[電話帳]を選び、 を押す <div> <<メニュー>> 履歴(発信/着信) 電話帳 </div>	3 で[番号検索]を選び、 を押す <div> <<電話帳>> 一覧表示 番号検索 </div>	4 で[共通電話帳]を選び、 を押す <div> <<電話帳指定>> 共通電話帳 個別電話帳 </div>
	5 で[カナ検索]を選び、 を押す <div> <<共-電話帳検索>> XEJ No 検索 カナ検索 </div>	6 検索する名前の1~5文字を入力して を押す <div> <<共-カナ検索>> <半> <ｽｽﾞｷ> </div>	7 検索結果から で相手を選び、 を押す <div> <<共通電話帳一覧>> 0011:鈴木一郎 0012:田中携帯 </div>	8 で[発信]を選び、 を押したあと、(通話)を押す <div> <<共-電話帳>> NO.0011 鈴木一郎 発信 </div>
<ul style="list-style-type: none"> • 手順4で[個別電話帳]を選択することもできます。 • メモリ番号から検索する場合は、手順5で[XEJ No 検索]を選択したあと、登録されているメモリ番号を入力してください。 • 待受状態で を押すと手順6の<<共-カナ検索>>画面が表示されます。 				
短縮ダイヤルを使う	1 待受状態で (短縮) を押す	2 メモリ番号を入力する <div> <<共通-XEJ NO 発信>> 0011 </div>	3 かけたい相手が選択されていることを確認して、 を押す <div> <<共通電話帳一覧>> 0011:鈴木一郎 0012:田中携帯 </div>	4 で[発信]を選び、 を押したあと、(通話)を押す <div> <<共-電話帳>> NO.0011 鈴木一郎 発信 </div>
	<ul style="list-style-type: none"> • 複数の電話番号が登録されている場合は、手順3のあと1つの電話番号を選択してから発信します。 			

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お 買 い 上 げ 日	年	月	日	品番	
販 売 店 名	電話 () -				
お 近 く の 販 売 会 社	電話 () -				

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付けください。

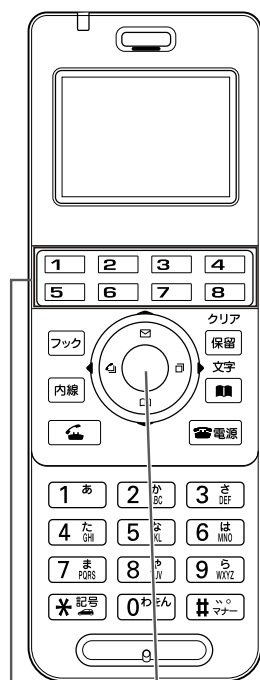
パナソニック システムネットワークス株式会社

システムソリューションズジャパンカンパニー

1405BH | 173-1 | D

デジタルコードレス電話機 DC-8DK

●詳しくは、取扱説明書をご覧ください。



確定ボタン

オートダイヤルボタン
□ (XXX)
(XXX) には機能名が
入ります。

電話をかける	外線にかける	☎ → 電話番号 → <通話> → ☎電源
	内線にかける	<プリセットダイヤルの場合> 電話番号(*) → ☎ → <通話> → ☎電源 内線 → 内線番号 → <通話> → ☎電源 <内線プリセット発信の場合> 内線番号(*) → 内線 → <通話> → ☎電源
かけ直す	外線	□ (リダイヤル) → <通話> → ☎電源
	内線	<サービスメニューを使用する場合> 内線 → 保留 → [履歴(発/着)] → [発信履歴] → [全グループ一覧] → ☎で履歴を選択 → ☎ → <通話> → ☎電源
電話を受ける		<着信音> → ☎ → <通話> → ☎電源
一時的に保留する		<通話中> → 保留 → <保留状態> → ☎電源 → <呼び返し> → ☎ → <通話> → ☎電源
転送	外線を口頭で転送	(転送する人) <通話中> → 保留 → ☎電源 → □頭で連絡 工事設定 「〇〇さん△△番に外線です」 ● 保留の代わりに □ (パーク) を押すか、《パーク保留 / 応答特番 []》 を押して転送できます。 (受ける人) 点滅している □ (外線) → <通話> → ☎電源 工事設定 ● 転送する側が □ (パーク) を押した場合、□ (外線) の代わりに該当する 番号の □ (パーク) を押します。
	内線番号で転送	(転送する人) <通話中> → 保留 → 転送先内線番号 → <通話> → フック → ☎電源 (受ける人) <着信音> → 内線 → <通話> → ☎電源

(※) 電話番号をダイヤルしてから ☎ を押して電話をかける (プリセットダイヤル) 場合は、電話番号を間違えたときに次の操作でダイヤルしなおすことができます。

- ・ 番号の最後から1ケタずつ消すとき: 保留
- ・ 番号すべてを消してダイヤルしなおすとき: ☎電源

- 充電器から上げている状態を基本とします。
- □ (リダイヤル)、□ (パーク) はあらかじめ登録しておきます。 **工事設定**
- □ (外線)、□ (電話帳) は、初期設定で割り付けられています。
- 特番をダイヤルする箇所には、[] 欄を設けていますので、実際にご使用になる特番をご記入ください。
- 特番については販売店にお問い合わせください。

自動転送	不在時の転送を設定する	<input type="checkbox"/> (不在) ⇒ で不在理由を選択 ⇒ ● <input type="checkbox"/> (不在) はあらかじめ登録しておきます。 <input type="checkbox"/> 内線 ⇒ 《不在特番[]》⇒ <input type="text" value="1あ"/> ～ <input type="text" value="9あ"/> で不在理由を選択 ⇒
	不在時の転送を解除する	点灯(赤)している <input type="checkbox"/> (不在) <input type="checkbox"/> 内線 ⇒ 《不在特番[]》⇒ <input type="text" value="0わん"/> (不在解除) ⇒
	不在時の転送先を設定する	(内線/外線/専用線からの着信を内線に転送する場合) <input type="checkbox"/> 内線 ⇒ 《不在転送登録特番[]》⇒ <input type="text" value="1あ"/> ～ <input type="text" value="3あ"/> で着信種別を選択 (<input type="text" value="0わん"/> :一括登録) ⇒ 転送先の内線番号を入力 ⇒ ⇒ <input type="text" value="0わん"/> / <input type="text" value="1あ"/> でツインコールの有無を選択! ⇒ ⇒ (内線/外線/専用線からの着信を外線に転送する場合) <input type="checkbox"/> 内線 ⇒ 《不在転送登録特番[]》⇒ <input type="text" value="1あ"/> ～ <input type="text" value="3あ"/> で着信種別を選択 (<input type="text" value="0わん"/> :一括登録) ⇒ ⇒ 転送先種別 <input type="text" value="0わん"/> を選択 ⇒ 転送先の電話番号を入力 ⇒ ⇒ <input type="text" value="0わん"/> / <input type="text" value="1あ"/> でツインコールの有無を選択! ⇒ ⇒ ※ <input type="text" value=" "/> は省略可 ● 発番号別の転送先設定(着信種別 <input type="text" value="4あ"/>)や内線 / 外線以外の転送先(転送先種別 <input type="text" value="1あ"/> ～ <input type="text" value="9あ"/>)については、『取扱説明書(多機能電話機編)』または『取扱説明書(Web 設定編)』を参照してください。

検索して電話をかける				
サービスメニューを使う	1 待受状態で、 <input type="checkbox"/> 内線のあと <input type="checkbox"/> 保留を押す	2 で「電話帳」を選び、 を押す <input type="text" value="《Xユー》電話帳"/>	3 で「一覧表示」を選び、 を押す <input type="text" value="《電話帳》一覧表示"/>	4 で「共通電話帳一覧」を選び、 を押す <input type="text" value="《一覧表示》共通電話帳一覧"/>
	5 で「全グループ一覧」を選び、 を押す <input type="text" value="《共通電話帳》全グループ一覧"/>	6 でかけたい相手を表示して、 を押す <input type="text" value="《共通電話帳》0011: 鈴木一郎"/>	7 [発信] を選び、 を押す <input type="text" value="鈴木一郎 発信"/>	8 電話番号1(または電話番号2～3)を選び、 を押す <input type="text" value="鈴木一郎 1>0123456789"/>
	● 手順4で「個別電話帳一覧」を選択することもできます。 ● 手順5で「グループ別一覧」を選択することもできます。 ● 手順7で「184 発信」または「186 発信」を選択することもできます。			
	1 待受状態で を押す	2 メモリ番号を入力する <input type="text" value="《共-XFリ NO 発信》0011"/>	3 かけたい相手が選択されていることを確認して、 を押す <input type="text" value="《共通電話帳》0011: 鈴木一郎"/>	
短縮ダイヤルを使う	● 複数の電話番号が登録されている場合は、1つの電話番号を選択してから発信します。 ● ここでは、主装置に保存されている電話帳からの発信について説明しています。 (電話帳ボタン)は、システムで使用するか、電話機のローカル電話帳で使用するかを設定できます。この操作を行う前に、機能メニュー(電話機独自機能)で、 (電話帳ボタン)を「システムで使用する設定」にしてください(待受状態から <input type="text" value="4あ"/> <input type="text" value="3あ"/> <input type="text" value="2あ"/> を押します)。 ● <input type="checkbox"/> (電話帳)でも操作できます。			

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お 買 い 上 げ 日	年	月	日	品番	
販 売 店 名	電話 () -				
お 近 く の 販 売 会 社	電話 () -				

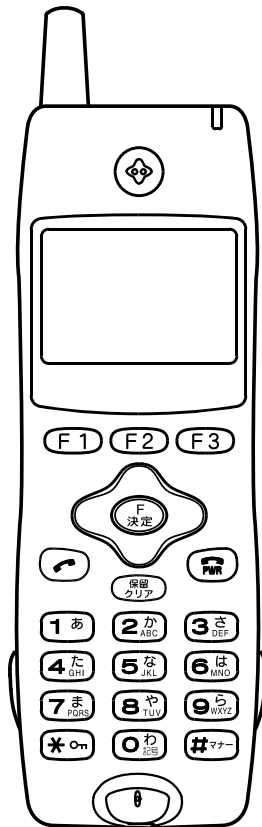
修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付けください。

パナソニック システムネットワークス株式会社


システムソリューションズジャパンカンパニー



1411BH | 173-1 | D

- 詳しくは、取扱説明書をご覧ください。



電話をかける	外線にかける	☎⇒《自動選局特番[]》⇒電話番号⇒<通話>⇒☎PWR
	内線にかける	<プリセットダイヤルの場合> 《自動選局特番[]》⇒電話番号(※)⇒☎⇒<通話>⇒☎PWR ☎⇒内線番号⇒<通話>⇒☎PWR <内線プリセット発信の場合> 内線番号(※)⇒☎⇒<通話>⇒☎PWR
かけ直す		☎⇒《リダイヤル特番[]》⇒<通話>⇒☎PWR
電話帳メモリ番号からかける		☎⇒《共通電話帳特番[]》⇒電話帳メモリ番号⇒<通話>⇒☎PWR
電話を受ける		<着信音>⇒☎⇒<通話>⇒☎PWR
一時的に保留する		<通話中>⇒☎保留⇒<保留状態> ⇒☎PWR⇒<呼び返し>⇒☎⇒<通話>⇒☎PWR
転送	外線を口頭で転送	(転送する人) <通話中>⇒☎保留⇒《パーク保留/応答特番[]》⇒ パーク番号 (例: ☎お記 ☎お記 ☎2かABC)⇒☎頭で連絡 「〇〇さん△△番に外線です」⇒☎PWR
	内線番号で転送	(受ける人) ☎⇒《パーク保留/応答特番[]》⇒(例: ☎お記 ☎お記 ☎2かABC)⇒ <通話>⇒☎PWR
		<通話中>⇒☎保留⇒転送先内線番号⇒<通話>⇒☎PWR <div>工事設定</div>

(※) 電話番号をダイヤルしてから  を押して電話をかける（プリセットダイヤル）場合は、電話番号を間違えたときに次の操作でダイヤルしなおすことができます。

- ・ 番号の最後から1ケタずつ消すとき: 
- ・ 番号すべてを消してダイヤルしなおすとき: 

- 充電器から上げている状態を基本とします。
- 特番をダイヤルする箇所には、[] 欄を設けていますので、実際にご使用になる特番をご記入ください。
- 特番については販売店にお問い合わせください。

自動転送	不在時の転送を設定する	☎⇒《不在特番[]》⇒(1あ)～(9わ)で不在理由を選択⇒☎PWR
	不在時の転送を解除する	☎⇒《不在特番[]》⇒(0わ) (不在解除) ⇒☎PWR
	不在時の転送先を設定する	<p>(内線/外線/専用線からの着信を内線に転送する場合)</p> <p>☎⇒《不在転送登録特番[]》⇒(1あ)～(3さ)で着信種別を選択((0わ):一括登録) ⇒☎⇒転送先の内線番号を入力⇒☎⇒☎(0わ)/(1あ)でツインコールの有無を選択⇒☎⇒☎PWR</p> <p>(内線/外線/専用線からの着信を外線に転送する場合)</p> <p>☎⇒《不在転送登録特番[]》⇒(1あ)～(3さ)で着信種別を選択((0わ):一括登録) ⇒☎⇒☎⇒転送先種別☎(0わ)を選択⇒☎⇒☎⇒転送先の電話番号を入力⇒☎⇒☎(0わ)/(1あ)でツインコールの有無を選択⇒☎⇒☎PWR ※ ☐は省略可</p> <p>● 発番号別の転送先設定(着信種別(4ふ))や内線/外線以外の転送先(転送先種別(1あ)～(9わ))については、『取扱説明書(多機能電話機編)』または『取扱説明書(Web 設定編)』を参照してください。</p>
	圏外転送	<p>圏外転送の登録はWeb設定で行います。</p> <p>※ 詳細については『取扱説明書 (Web 設定編)』を参照してください。</p>

ご注意

- この電話機では、発番号が非通知の電話を着信したときでも、電話機のディスプレイに「非通知番号」と表示されません。
- この電話機では、端末メニューで「発番号通知」を「オフ」を設定して発信しても非通知にはなりません。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品番	
販 売 店 名	電話 () -		
お 近 く の 販 売 会 社	電話 () -		



















修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付けください。

パナソニック システムネットワークス株式会社







システムソリューションズジャパンカンパニー

1423BH | 173-1 | D



●詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

電話をかける	外線にかける	 → 《自動選局特番[]》 → 電話番号 → <通話> → 
	内線にかける	 → 内線番号 → <通話> → 
かけ直す		 → 《リダイヤル特番[]》 → <通話> → 
電話帳メモリ番号からかける		 → 《共通電話帳特番[]》 → 電話帳メモリ番号 → <通話> → 
電話を受ける		<着信音> →  → <通話> → 
一時的に保留する		<通話中> → フッキング操作 → <保留状態> → フッキング操作(または  → <呼び返し> ) → <通話> → 
転送	内線番号で送	<通話中> → フッキング操作 → 転送先内線番号 → <通話> →  工事設定
	外口頭線で転送	(転送する人) <通話中> → フッキング操作 → 《パーク保留/応答特番[]》 パーク番号 → (例: <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="1"/>) → □頭で連絡 「〇〇さん△△番に外線です」 → 
		(受ける人)  → 《パーク保留/応答特番[]》 → (例: <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="1"/>) → <通話> → 
	外線番号に送	<通話中> → フッキング操作 → 《自動選局特番[]》 → 電話番号 → <通話> →  工事設定

- フッキング操作とは、通話中に電話機のフックスイッチを「ポンッ」と押すことをいいます。
- 特番をダイヤルする箇所には、[] 欄を設けていますので、実際にご使用になる特番をご記入ください。
- 特番については販売店にお問い合わせください。

自動転送	不在時の転送を設定する	 → 《不在特番[]》 → <input type="text" value="1"/> ~ <input type="text" value="9"/> で不在理由を選択 → 
	不在時の転送を解除する	 → 《不在特番[]》 → <input type="text" value="0"/> (不在解除) → 
	不在時の転送先を設定する	<p>(内線/外線/専用線からの着信を内線に転送する場合)</p>  → 《不在転送登録特番[]》 → <input type="text" value="1"/> ~ <input type="text" value="3"/> で着信種別を選択(<input type="text" value="0"/> :一括登録) → 転送先の内線番号を入力 → <input type="text" value="＊"/> → <input type="text" value="0"/> / <input type="text" value="1"/> でツインコールの有無を選択 → <input type="text" value="＊"/> → 

(内線/外線/専用線からの着信を外線に転送する場合)

 → 《不在転送登録特番[]》 → ~ で着信種別を選択(:一括登録)
→ → 転送先種別 を選択 → 転送先の電話番号を入力 →
→ / でツインコールの有無を選択 → →  ※ は省略可

● 発番号別の転送先設定(着信種別) や内線 / 外線以外 の転送先(転送先種別 ~) については、『取扱説明書(多機能電話機編)』または『取扱説明書(Web 設定編)』を参照してください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品番	
販 売 店 名		電話 ()	-
お 近 く の 販 売 会 社		電話 ()	-

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付けください。

パナソニック システムネットワークス株式会社
システムソリューションズジャパンカンパニー

1414BH 173-1 D